



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月12日

上場取引所 札

上場会社名 健康コーポレーション株式会社

コード番号 2928 URL <http://www.kenkoucorp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 瀬戸 健

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 香西 哲雄

TEL 03-5337-1337

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	4,603	14.8	△592	—	△567	—	△414	—
25年3月期第1四半期	4,009	12.3	△464	—	△385	—	△181	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △415百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △179百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△13.43	—
25年3月期第1四半期	△5.86	—

(注) 当社は平成24年10月1日付けで普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	12,464	—	2,106	—	16.3	—
25年3月期	11,469	—	2,652	—	21.7	—

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 2,037百万円 25年3月期 2,494百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	1.35	1.35
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	1.91 ～2.39

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成26年3月期の配当予想に関する詳細につきましては、本日別途公表いたしました「配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,708	23.5	△565	—	△612	—	△371	—	△12.03
通期	21,361	19.7	1,262	51.7	1,168	24.1	740	84.1	23.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 株式会社JG Beauty 、 除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	30,859,000 株	25年3月期	30,859,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	— 株	25年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	30,859,000 株	25年3月期1Q	30,859,000 株

当社は平成24年10月1日付けで普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(4) セグメント情報等	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 9
(6) 重要な後発事象	P. 10

- ・ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。
  - ・ 平成25年8月27日（火）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会
- ・ 上記説明会のほかにも、当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年6月30日)における我が国経済は、政府の経済・金融政策を背景に、円安・株高が消費マインドへ影響し持ち直しの動きが見られました。

このような経営環境の下、当社グループは、各社の強みに応じた販売と運営の分離を行うなど、グループ内シナジーの最大化に継続して取り組みました。フィットネス事業の「RIZAP(ライザップ)」においては、東京都内に新たに2つの大型店舗をオープンし、店舗拡大とともに、認知度向上のための広告宣伝活動も積極的に進めました。また、マタニティウェア等を販売する株式会社エンジェリーベは、昨年の株式取得以降、主にインターネット販売の営業力強化と大幅なコスト改善の実現により経営基盤が強化されたことから、株式を追加取得し完全子会社化いたしました。このほか、株式会社ジャパングヤルズは会社分割により製造と販売を分離し、株式会社ジャパングヤルズが美容機器・化粧品等の製造を、新設分割会社である株式会社JG Beautyが化粧品等の販売を行う体制に移行いたしました。

当社の通販事業におきましては、新規顧客獲得のためテレビCMをはじめとする積極的な広告宣伝活動を実施いたしました。なお、当社のビジネスモデルとして、事業年度の上期において積極的に広告宣伝費を投下することで新規顧客を獲得し、下期においては広告宣伝費を抑制し、上期で獲得した新規顧客等によるリピート購入によって利益回収を行うため、毎期、第1四半期から第2四半期にかけては広告宣伝費を主とした販売管理費の費用が増加し営業損失を計上する傾向となります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,603百万円(前第1四半期連結累計期間は4,009百万円)、営業損益△592百万円(前第1四半期連結累計期間は△464百万円)、経常損益△567百万円(前第1四半期連結累計期間は△385百万円)、四半期純損益は△414百万円(前第1四半期連結累計期間は△181百万円)となりました。

なお、平成25年6月4日に公表いたしました「業績予想に関するお知らせ」に記載の四半期毎の業績見通しにおける当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高が4,925百万円の予想に対し4,603百万円であった一方、営業利益は△635百万円の予想に対し△592百万円となりました。

セグメント別の事業概況は、次のとおりであります。

#### (美容・健康関連事業)

美容・健康関連事業は大きく分けて「美容関連分野」と「健康食品分野」になり、美容関連分野は当社を中心に、株式会社ジャパングヤルズ、株式会社アスティ、グローバルメディカル研究所株式会社及び株式会社JG Beautyが事業を行っており、健康食品分野は当社と株式会社アスティを中心に事業を行っております。また、エムシーツー株式会社が美容関連・健康食品両分野においてコールセンター事業による販売支援活動を行っております。

この分野における当社通販事業におきましては、例年第1四半期に積極的な広告宣伝活動を行うなかで、当第1四半期は効果的な広告宣伝媒体の買付けが出遅れたこと及び定期コースの継続率低下が影響し、「ESTENAD(エステナード)」シリーズの売上高は前年同期比で減収となりました。施策面では、当第1四半期後半で新規クリエイティブや一部のインフォーマーシャルにおいて良好な実績を上げており、引き続きクリエイティブ開発に注力してまいります。

「どろ豆乳石鹸 どろあわわ」は、エステナード同様、当第1四半期は効果的な広告宣伝媒体の買付けが出遅れたこともあり、広告宣伝費が前年同期比マイナスとなったため、売上高も前年同期比で微減となりましたが、テレビCMの効果もあり、認知度の向上に伴って安定した売上を維持しております。

美容関連分野におけるグループ会社の事業につきましては、株式会社ジャパングヤルズ及び株式会社JG Beautyは、炭酸系商品の販売が好調に推移したものの、家電量販店での販売面積縮小と美容フェイスマスクの競争激化により売上高は前年同期比で減収となりました。グローバルメディカル研究所株式会社は、広告宣伝活動を当社が行い、店舗運営をグローバルメディカル研究所株式会社が行う経営体制のもとで、都内新店舗の出店やテレビCM等の広告宣伝活動による新規顧客獲得が好調であり、これにより売上高、新規顧客数も順調に伸びました。また、会員向けサービスメニューの充実を図り、オリジナルプロテインや低糖質フードの提供といった物販を開始し、売上に貢献しております。

健康食品分野におきましては、株式会社アスティのダイエット系栄養機能食品をはじめとする機能別健康補助食品が安定的な売上を維持しております。

この結果、美容・健康関連事業での売上高は3,280百万円（前第1四半期連結累計期間は2,911百万円）、営業損益は△541百万円（前第1四半期連結累計期間は△457百万円）となりました。

#### （食品関連事業）

食品関連事業は、乳製品の加工受託及び製造販売事業を主たる事業とする株式会社弘乳舎が事業を行っております。

当第1四半期連結累計期間は、主力となる生産余剰乳（以下、「余乳」という）の加工受託事業が繁忙期にあたり、余乳の加工受託処理件数が増加したこと及び液状乳製品（脱脂濃縮乳）事業が好調であったことから増収となりました。

この結果、食品関連事業の売上高は840百万円（前第1四半期連結累計期間は638百万円）、営業利益は133百万円（前第1四半期連結累計期間は89百万円）となりました。

#### （アパレル関連事業）

アパレル関連事業は、マタニティウェアや出産内祝いギフト等を販売する株式会社エンジェリーベが事業を行っております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、春夏商戦の商品開発が不十分であったこと、一部商品の欠品対応を賄うことができなかったこと及び当初予定していた自社ECサイト・通販管理システムの再構築が7月に順延したことの影響により減収減益となりました。

この結果、アパレル関連事業の売上高は482百万円（前第1四半期連結累計期間は459百万円）、営業損益は△77百万円（前第1四半期連結累計期間は△5百万円）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.3%増加し、7,965百万円となりました。これは主として、繰延税金資産が241百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて13.1%増加し、4,499百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて8.7%増加し、12,464百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて21.5%増加し、6,722百万円となりました。これは主として、未払金が994百万円、短期借入金が229百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて10.7%増加し、3,635百万円となりました。

この結果、総負債は、前連結会計年度末に比べて17.5%増加し、10,357百万円となりました。

## (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて20.6%減少し、2,106百万円となりました。これは主として、利益剰余金が456百万円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね当初予想通りに推移しており、第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましても、現時点では、平成25年6月4日に公表しました業績予想と変更しておりません。ただし、平成25年8月1日に公表いたしました日本リレント化粧品株式会社及び株式会社馬里邑の子会社化に伴う当期の連結業績に与える影響につきましては、現在精査中であり、確定次第速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、平成25年4月1日付で株式会社ジャパングヤルズの会社分割により新たに設立した株式会社JG Beautyを連結子会社としております。なお、株式会社JG Beautyは当社の特定子会社には該当いたしません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,437,219	2,402,509
受取手形及び売掛金	3,081,841	3,098,577
商品及び製品	1,399,351	1,408,661
仕掛品	10,124	10,922
原材料及び貯蔵品	321,698	379,038
その他	770,157	1,251,108
貸倒引当金	△530,189	△585,717
流動資産合計	7,490,203	7,965,100
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,019,999	1,019,999
その他(純額)	1,269,011	1,512,029
有形固定資産合計	2,289,011	2,532,029
無形固定資産		
のれん	1,130,385	1,286,660
その他	56,369	76,413
無形固定資産合計	1,186,754	1,363,074
投資その他の資産		
投資有価証券	24,076	23,495
その他	490,267	591,815
貸倒引当金	△10,996	△10,946
投資その他の資産合計	503,347	604,364
固定資産合計	3,979,113	4,499,467
資産合計	11,469,316	12,464,567

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	833,804	785,994
未払金	487,917	1,482,471
短期借入金	349,389	579,304
1年内返済予定の長期借入金	1,936,092	1,938,303
未払法人税等	484,893	65,212
賞与引当金	68,813	89,195
返品調整引当金	20,269	15,853
環境安全対策引当金	24,607	24,607
その他	1,326,183	1,741,259
流動負債合計	5,531,972	6,722,200
固定負債		
社債	648,500	666,500
長期借入金	2,057,144	2,434,976
役員退職慰労引当金	150,561	47,499
退職給付引当金	135,939	119,370
その他	292,199	367,409
固定負債合計	3,284,344	3,635,755
負債合計	8,816,316	10,357,955
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	189,250	189,250
利益剰余金	2,204,113	1,747,932
株主資本合計	2,493,364	2,037,183
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,189	548
その他の包括利益累計額合計	1,189	548
少数株主持分	158,445	68,880
純資産合計	2,652,999	2,106,612
負債純資産合計	11,469,316	12,464,567

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	4,009,328	4,603,702
売上原価	1,766,300	2,109,190
売上総利益	2,243,027	2,494,512
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	1,500,596	1,649,060
その他	1,207,158	1,437,675
販売費及び一般管理費合計	2,707,754	3,086,736
営業損失(△)	△464,727	△592,224
営業外収益		
受取利息及び配当金	243	6
受取賃貸料	415	415
保険解約益	53,100	—
匿名組合投資利益	38,366	31,060
その他	16,944	13,672
営業外収益合計	109,071	45,155
営業外費用		
支払利息	17,871	19,061
その他	12,093	1,635
営業外費用合計	29,965	20,697
経常損失(△)	△385,620	△567,765
特別損失		
固定資産除却損	—	9,487
その他	—	155
特別損失合計	—	9,643
税金等調整前四半期純損失(△)	△385,620	△577,408
法人税、住民税及び事業税	55,527	76,148
法人税等調整額	△264,418	△238,924
法人税等合計	△208,890	△162,775
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△176,730	△414,633
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4,355	△111
四半期純損失(△)	△181,085	△414,521

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△176,730	△414,633
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,162	△641
その他の包括利益合計	△3,162	△641
四半期包括利益	△179,892	△415,274
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△184,050	△415,162
少数株主に係る四半期包括利益	4,157	△111

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	美容・健康 関連	食品関連	アパレル関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,911,682	638,551	459,094	4,009,328	—	4,009,328
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	7,301	—	7,301	△7,301	—
計	2,911,682	645,853	459,094	4,016,630	△7,301	4,009,328
セグメント利益又は損失(△)	△457,798	89,642	△5,357	△373,513	△91,213	△464,727

(注) 1 セグメント間取引消去又は各報告セグメントに配分していない全社費用によるものであります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「美容・健康関連」及び「アパレル関連」セグメントにおいて、(企業結合等関係)に記載の企業結合に伴い、当第1四半期連結累計期間にのれんがそれぞれ171,725千円、114,425千円発生しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	美容・健康 関連	食品関連	アパレル関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,280,726	840,836	482,139	4,603,702	—	4,603,702
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,061	10,127	—	20,188	△20,188	—
計	3,290,788	850,963	482,139	4,623,891	△20,188	4,603,702
セグメント利益又は損失(△)	△541,132	133,203	△77,232	△485,160	△107,063	△592,224

(注) 1 セグメント間取引消去又は各報告セグメントに配分していない全社費用によるものであります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (6) 重要な後発事象

(株式取得による会社等の買収)

当社は、平成25年8月1日開催の取締役会決議において、株式取得により子会社化をすることについて決議いたしました。その概要は次のとおりであります。

## I 日本リレント化粧品株式会社

## (1) 企業結合の概要

## ① 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 日本リレント化粧品株式会社

事業の内容 化粧品の製造・販売、医薬部外品の製造・販売等

## ② 企業結合を行った主な理由

当社グループは、日本リレント化粧品株式会社の子会社化により、グループ内に自社製造工場を有することで、当社及び当社グループのオリジナル化粧品類の企画・開発力を強化するとともに、顧客基盤の拡大に寄与するものと判断し、同社を当社の子会社とすることといたしました。

## ③ 企業結合日

平成25年8月1日

## ④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

## ⑤ 結合後企業の名称

日本リレント化粧品株式会社

## ⑥ 取得した議決権比率

企業結合日前に所有していた議決権比率 0%

企業結合日に取得した議決権比率 100%

取得後の議決権比率 100%

## ⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とする株式取得による企業結合であるため、現金を引き渡した企業（当社）を取得企業としております。

## (2) 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価 90,000千円

取得に直接要した費用 5,880千円

---

取得原価 95,880千円

## II 株式会社馬里邑

### (1) 企業結合の概要

#### ① 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 株式会社馬里邑

事業の内容 婦人既製服の企画、製造及び販売

#### ② 企業結合を行う主な理由

株式会社馬里邑の子会社化においては、メイン顧客層であるハイエンド・ミセス層とエンジェリーベの顧客層である20～40代のマタニティ層に両社間での競合はなく、エンジェリーベのマタニティ層に対し母娘2世代への商品訴求が可能となるほか、両社の販路の相互活用、当社グループの強みである広告宣伝による馬里邑ブランドの顧客層の拡大といった有機的なシナジーが期待できることから同社を当社の子会社とすることといたしました。

なお、同社の株式取得にあたっては、同社の婦人既製服の企画、製造、販売事業と不動産事業を分離する会社分割によって、婦人既製服の企画、製造、販売事業を継承する新設会社の株式を取得するものであり、当該会社分割の効力発生を条件とすることとしております。

#### ③ 企業結合日

平成25年9月30日（予定）

(注) 当該株式取得は株式会社馬里邑による会社分割の効力発生を条件とすることとしております。

#### ④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

#### ⑤ 結合後企業の名称

株式会社馬里邑

#### ⑥ 取得する議決権比率

企業結合日前に所有している議決権比率 0%

企業結合日に取得する議決権比率 100.0%

取得後の議決権比率 100.0%

#### ⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とする株式取得による企業結合であるため、現金を引き渡す企業（当社）を取得企業としております。

### (2) 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	190,000千円
取得に直接要した費用	55,871千円
取得原価	245,871千円